

野川河床整備工事（北その6）

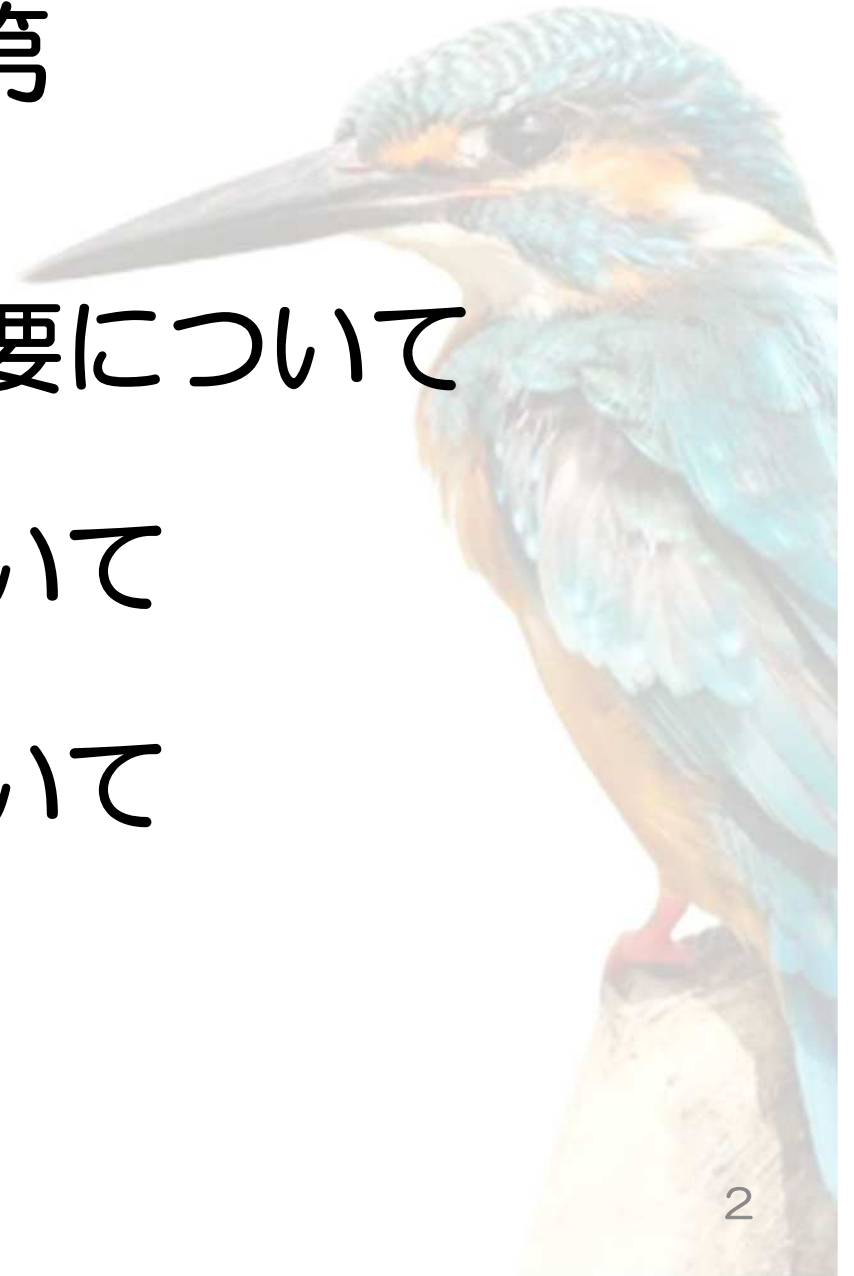
工事説明会

発注者：東京都北多摩南部建設事務所

受注者：株式会社 野沢実業

次 第

1. 野川の事業概要について
2. 工事概要について
3. 工事内容について





1. 野川の事業概要について

1-(1) 野川の概要



1－(2) 野川流域河川整備計画

■治水対策

○整備目標

年超過確率1/20（1時間あたり65mm）の降雨に対応できる治水能力の確保

○整備内容

河道の整備（拡幅、護岸整備、河床掘削）

調節池の整備（新規設置、既設調節池の改造）

■河川環境の整備と保全

○親水整備

- ・高水敷を散策路としても利用できる
複断面河道で整備
- ・沿川の公園と一体となった整備について
関係者との調整・連携

○生態系保全・回復

- ・瀬切れ対策として不透水層の設置

○目標整備水準65ミリ の役割分担



【参考】

◎「東京都建設局のホームページ」において、以下の事項を掲載しています

①野川流域河川整備計画について

【ホームページアドレス】

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/river/jigyo/kasenseibikeikaku/index.html>



②年超過確率1/20について

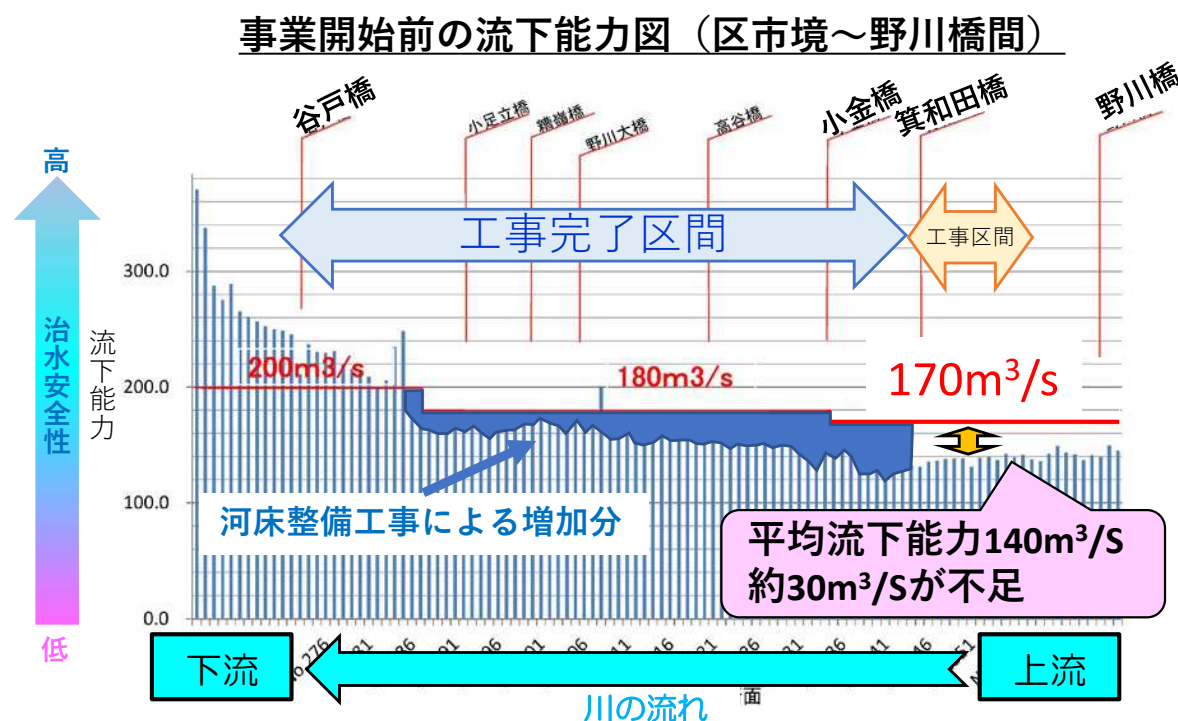
【ホームページアドレス】

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000064469.pdf>



1－(3) 野川の現状（治水面1）

○現状では、概ね時間50mm降雨に対する流下能力が不足しています



安全な流下能力の確保は必須

令和6年8月30日 台風10号
調布雨量観測所 時間最大雨量29 (mm/hr) 総雨量227mm



1－(4) 野川の現状（治水面2）

○経年の洪水の影響で、野川の曲線部外側において洗掘が進行しています



出典：Googlemap



1－(5) 野川の現状（環境面）

○野川では、たびたび「瀬切れ」の現象が生じており、生態系の連続性が損なわれています

※ 瀬切れ： 平常時において河川の水量がなくなる現象



小足立橋下流



箕和田橋上流

平成16年7月 瀬切れ
【入間川合流点付近から大町橋上流】



小金橋下流



野川橋下流

平成29年7月 瀬切れ
【高谷橋上流から大町橋下流】

○水際に降りられる階段施設の整備により、河川内を散策や各種イベントで利用されています



高谷橋上流の階段



小金橋下流の階段



河川内の散策



1－(6) 野川の河床整備方針

■治水対策

- 時間50mm降雨の洪水に対して流下能力の確保
⇒高水敷および河床の掘削
- 河川の洗掘が進行している区間は、洗掘防止対策を実施
⇒低水路に護岸を設置（低水路法面保護工）

■河川環境の整備と保全

- 瀬切れ対策
⇒河床に粘土層を設置（不透水層設置工）
- 河川環境の保全
⇒工事前の川の形をできる限り再現するとともに、盛土により砂州を復元
⇒工事区間に生息している生物・植物の移植
- 親水性の向上
⇒高水階段及び低水階段の設置、飛び石の設置

2. 工事概要について



2-(1) 工事概要

工事件名： 野川河床整備工事（北その6）

工事場所： 東京都狛江市西野川四丁目地内から調布市国領町八丁目地内まで

工事期間： 令和 7 年 10月下旬～令和8年7月（予定）

作業時間： 8：00～18：00（予定）

注)土曜日・日曜日・祝日は原則、作業を行いません。

（気象状況に応じて土曜日・祝日に作業を行うこともあります）

主要工種： 土工事（河床掘削）

不透水層設置工

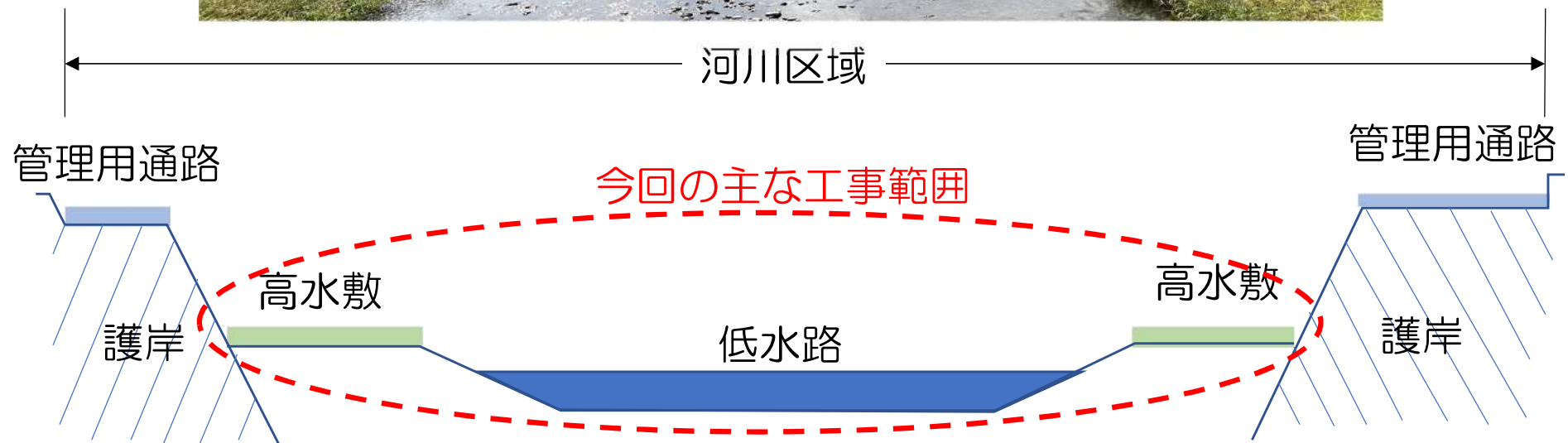
低水路法面護岸工

低水路階段工

高水敷階段工

飛び石工

2-(2) 工事概要

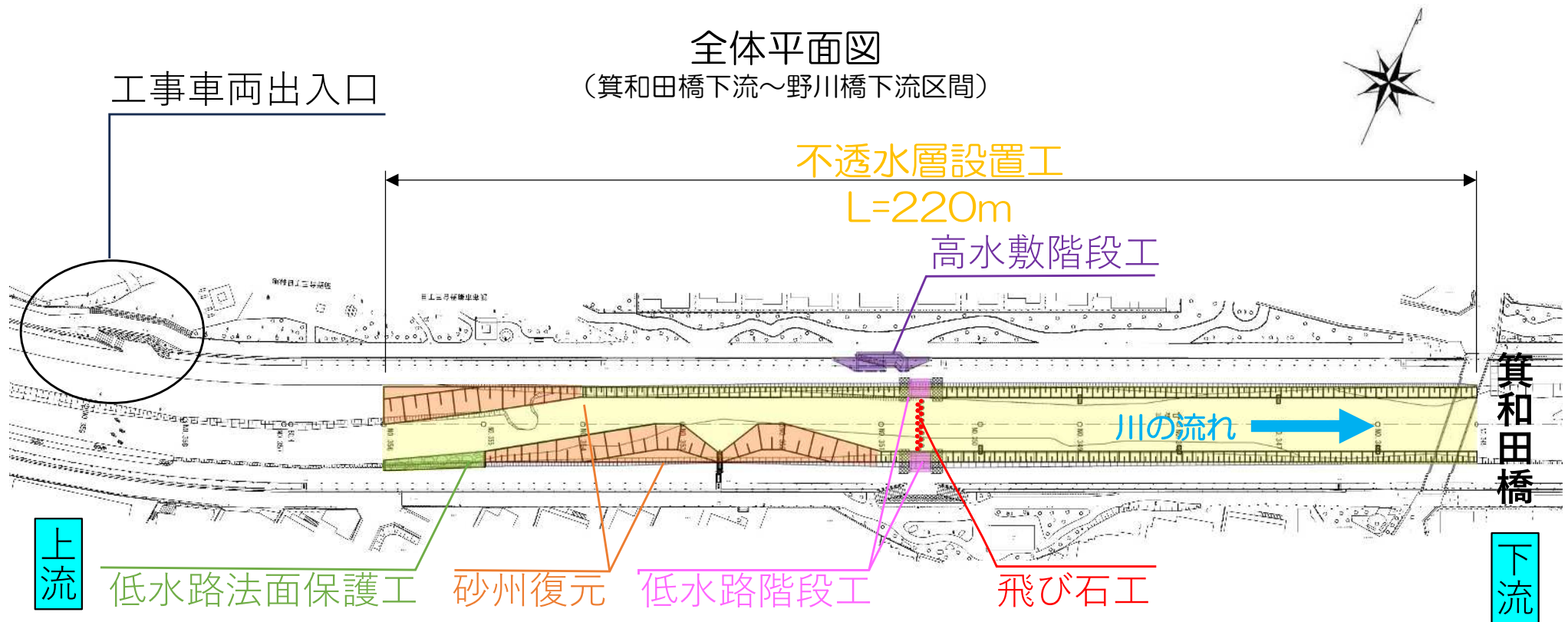


- 低水路 : いつも水が流れている川の部分
- 高水敷 : ふだん水が流れていない、川の少し高い場所の土地
- 管理用通路 : 川の見回りや災害時の対応のために使う、護岸の上の通路

2-(3) 工事概要

全体平面図

(箕和田橋下流～野川橋下流区間)



2-(4) 工事概要

箕和田橋より下流側を望む



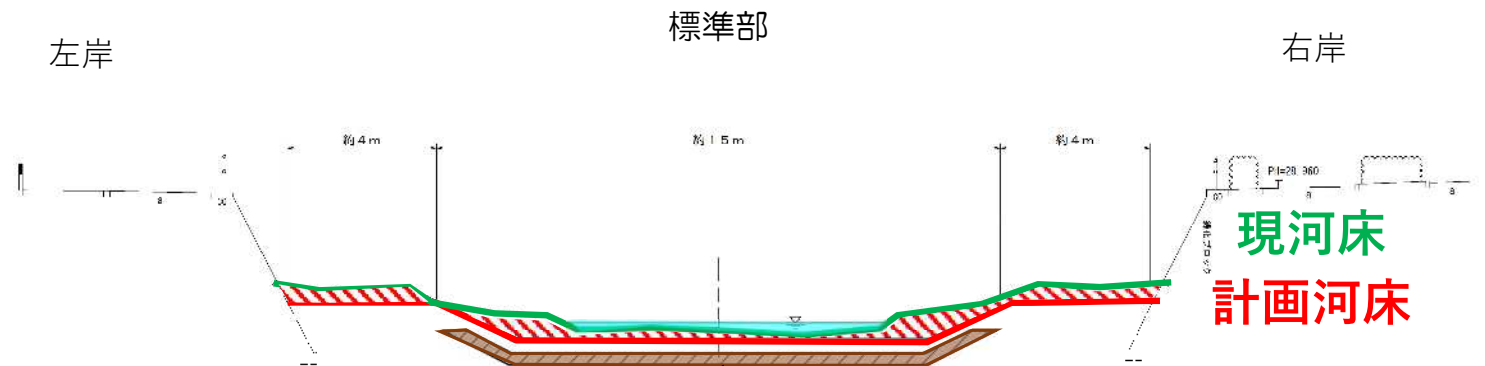
不透水層(粘土張り)施工中



低水路護岸(自然石固着金網)



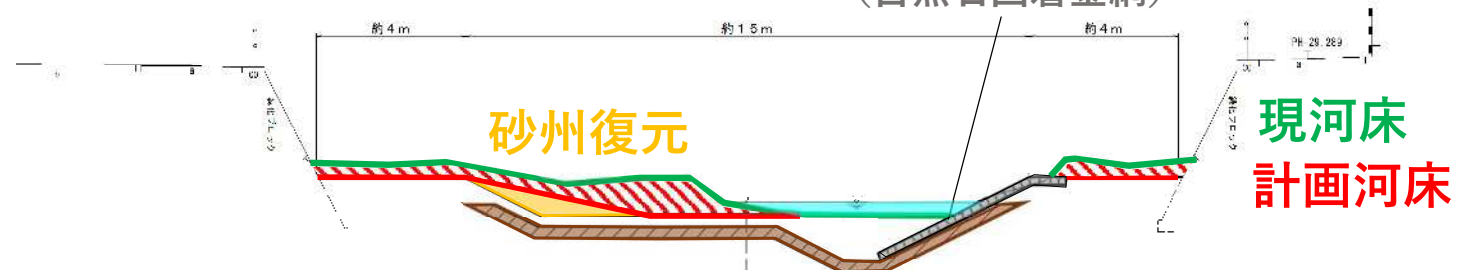
整備断面図



不透水層設置工

低水路護岸工及び砂州復元部

低水路法面護岸工
(自然石固着金網)



不透水層設置工

3. 工事内容について

3－(1) 工事手順

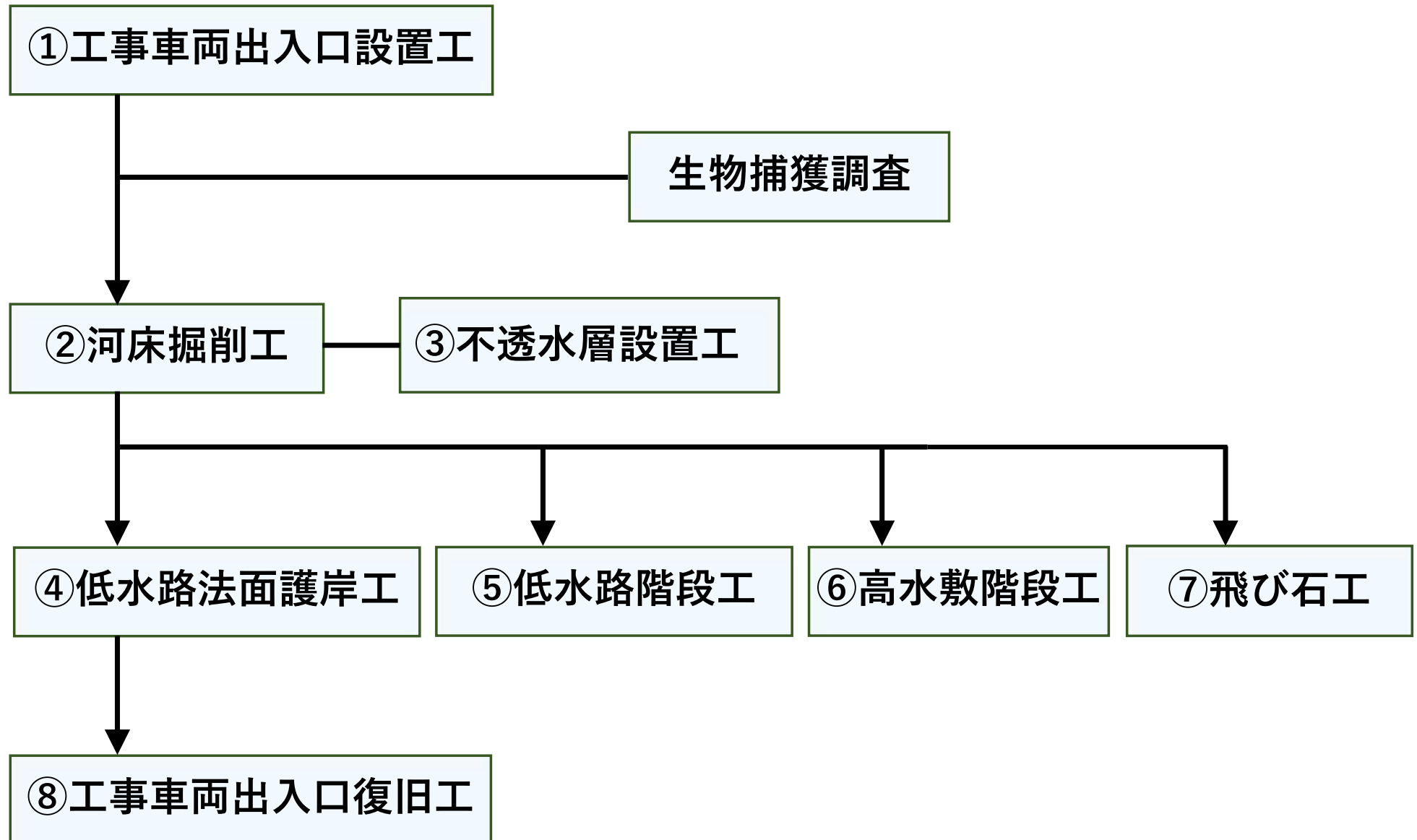
3－(2) 安全対策

3－(3) 通行止め

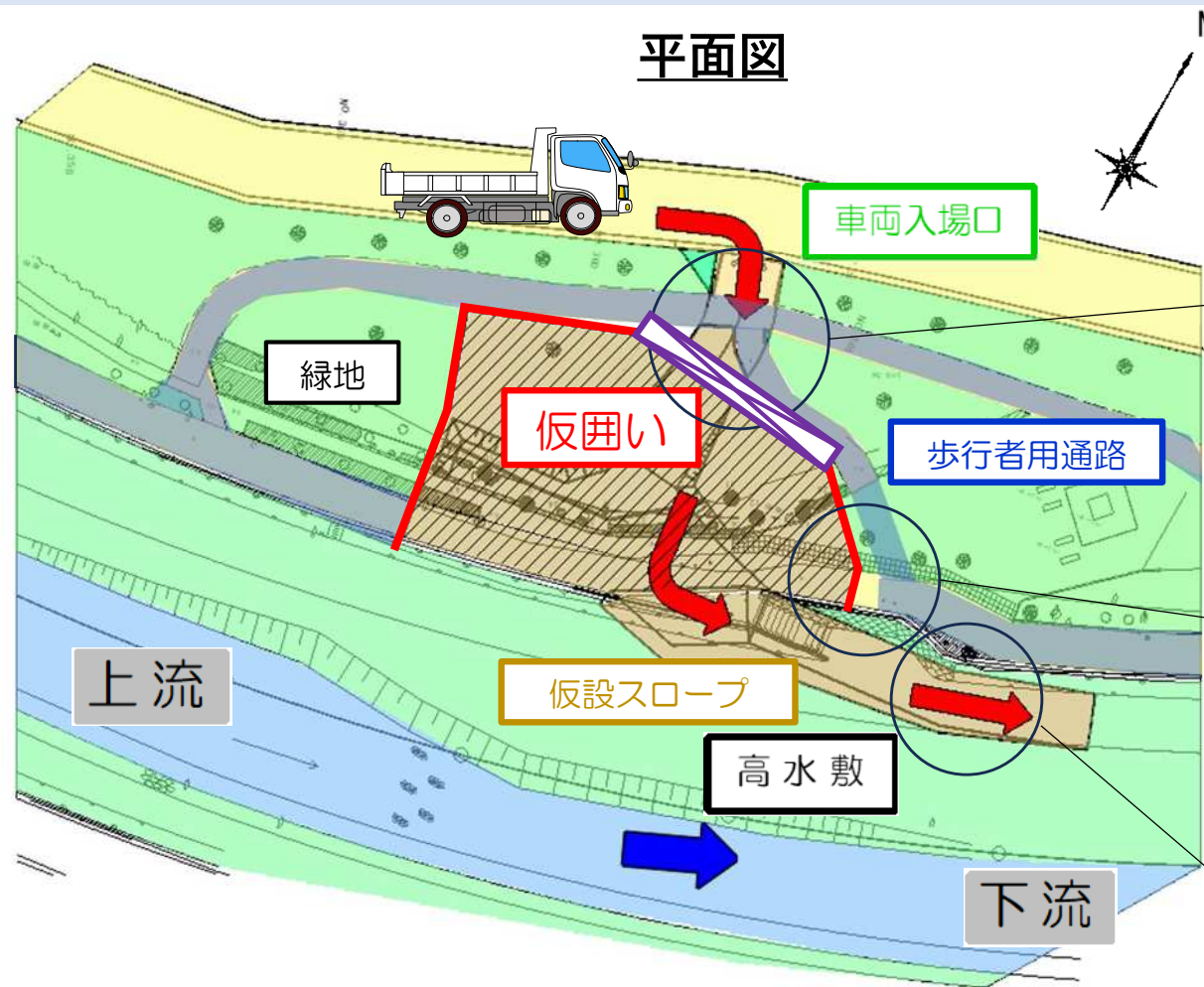
3－(4) 使用機械

3－(5) 環境調査

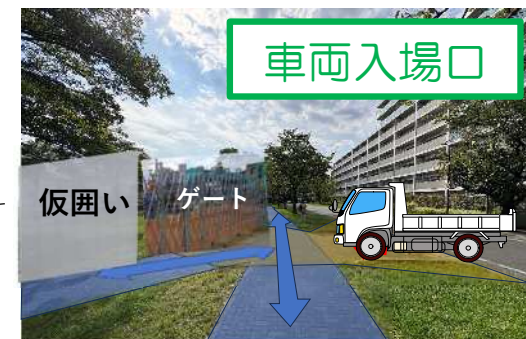
3-(1) 工事手順



① 工事車両出入口設置工



イメージ写真

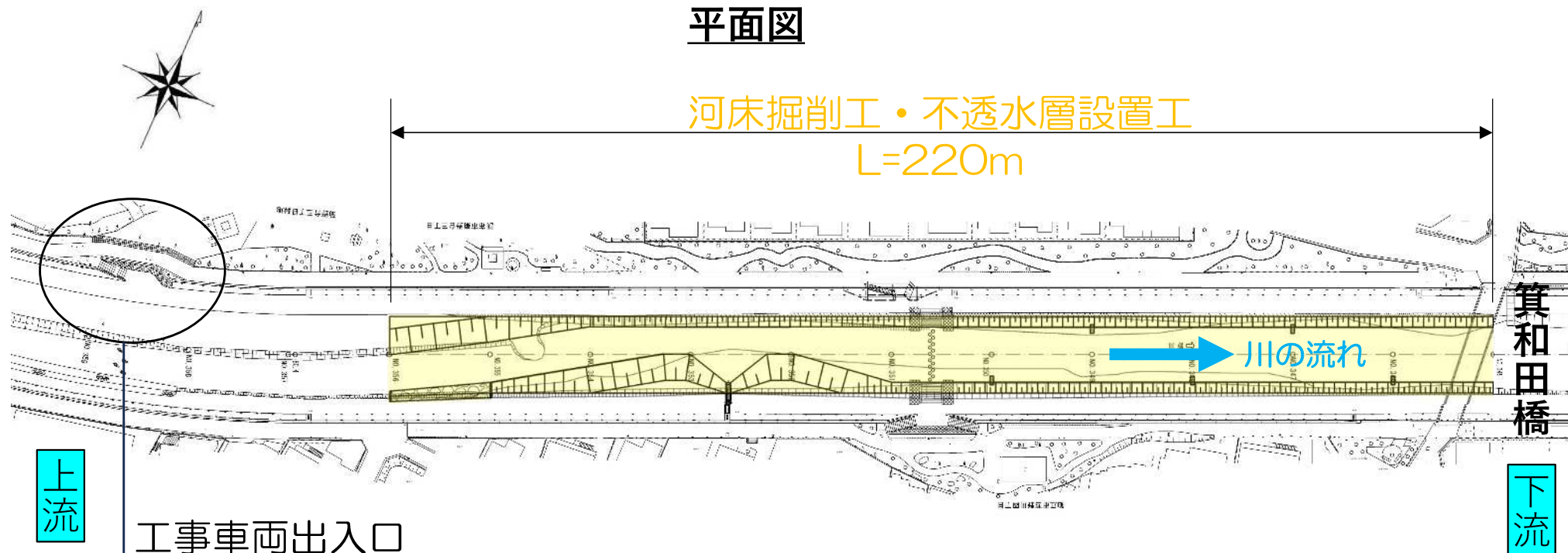


河川内出入口：菊野台三丁目緑地内

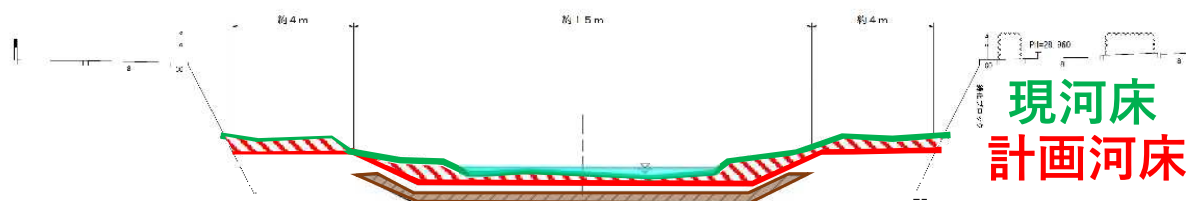
- 車両入場口：工事車両入場のため整備
- 仮囲い：管理用通路や緑地の利用者と工事範囲を安全に区分するため設置
- 歩行者用通路：管理用通路が通行できない区間、緑地内にも回路を整備
- 仮設スロープ：工事車両が高水敷に降りるために設置

② 河床掘削工・③ 不透水層設置工

平面図



標準断面図



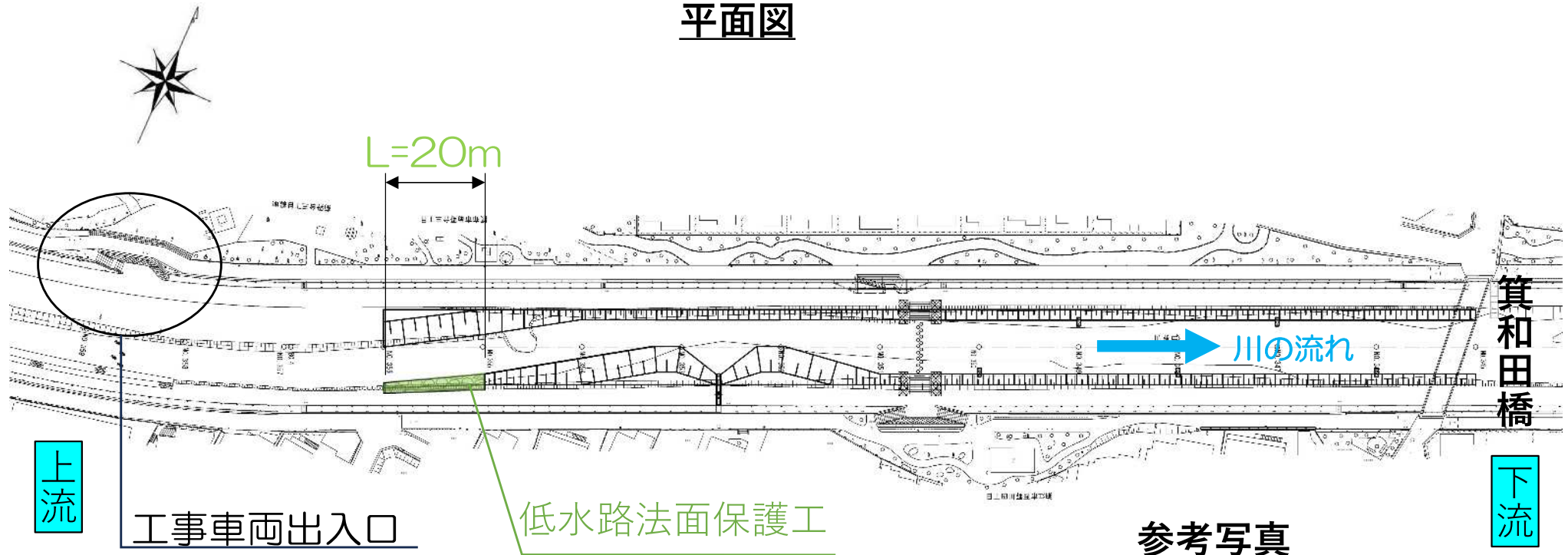
不透水層設置工
(粘性土張り)

参考写真



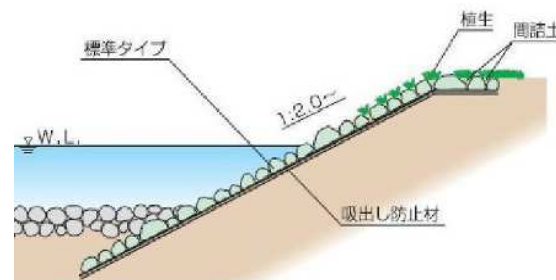
④ 低水路法面保護工（自然石固着金網）

平面図



参考写真

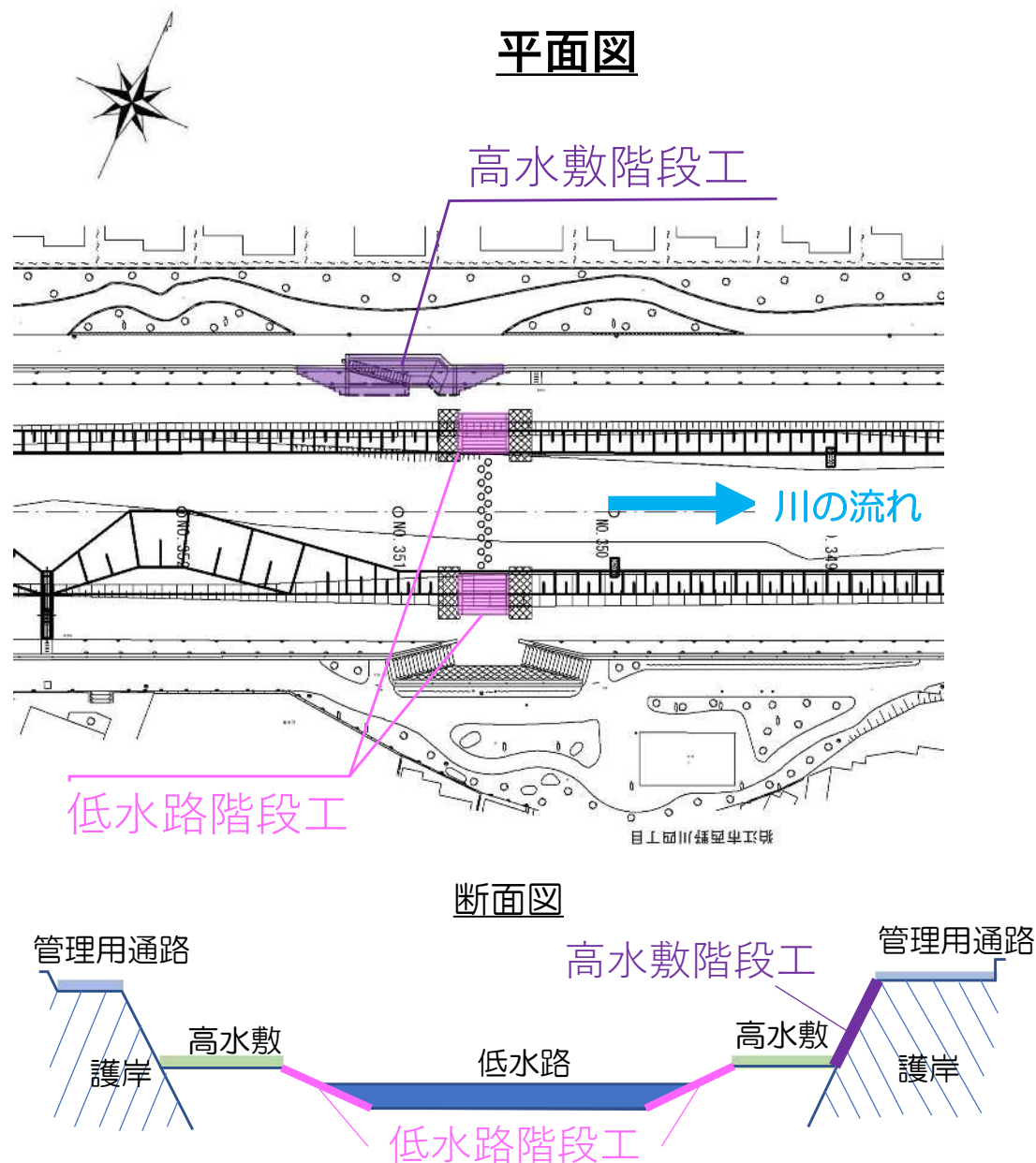
自然石固着金網



※アンカーピン等の滑動防止工を併用することで、
n=1:1.5~1:2.0の勾配にも適用可能です。



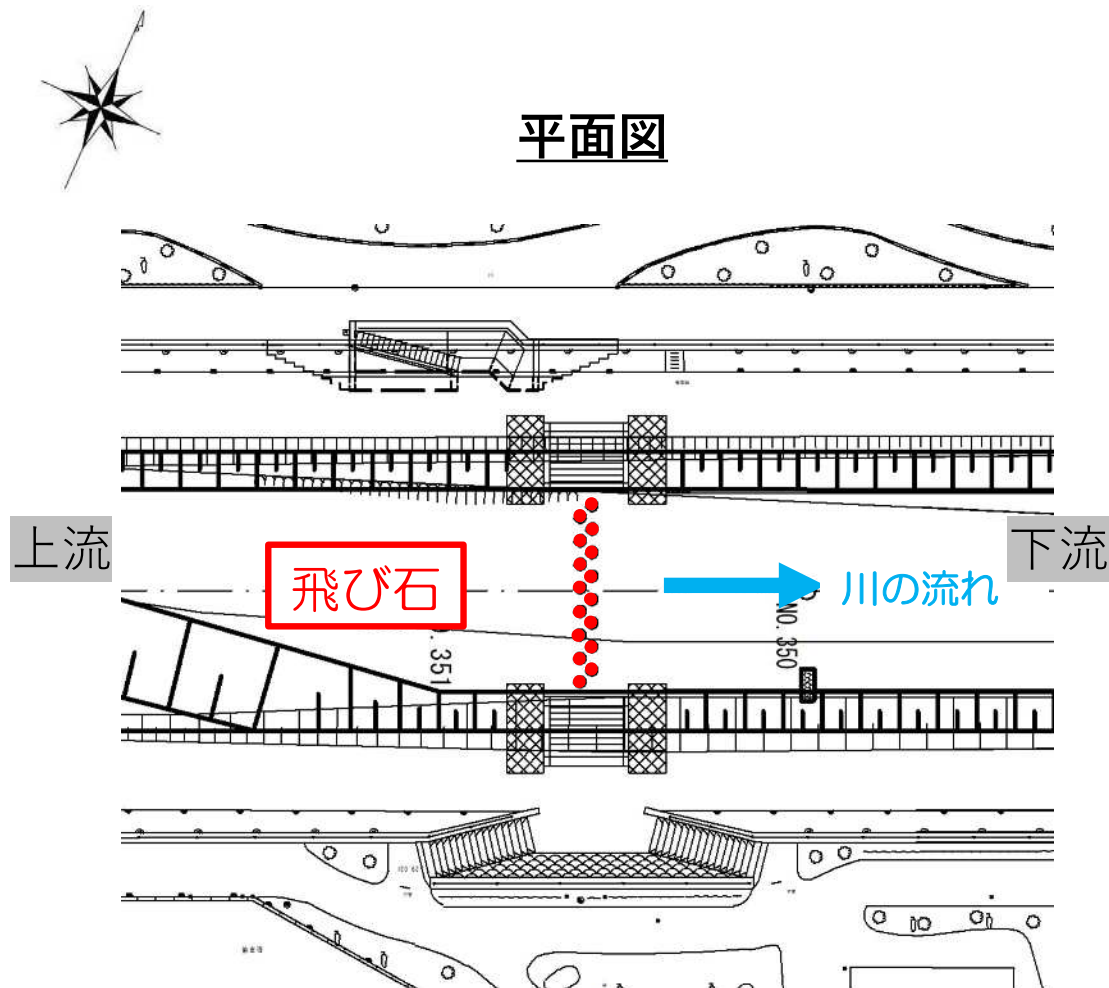
⑤ 低水路階段工・⑥高水敷階段工



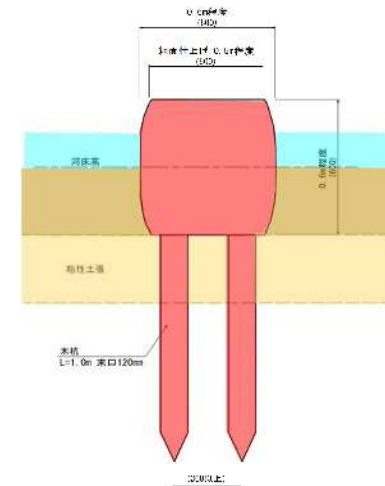
参考写真



⑦ 飛び石工



イメージ図



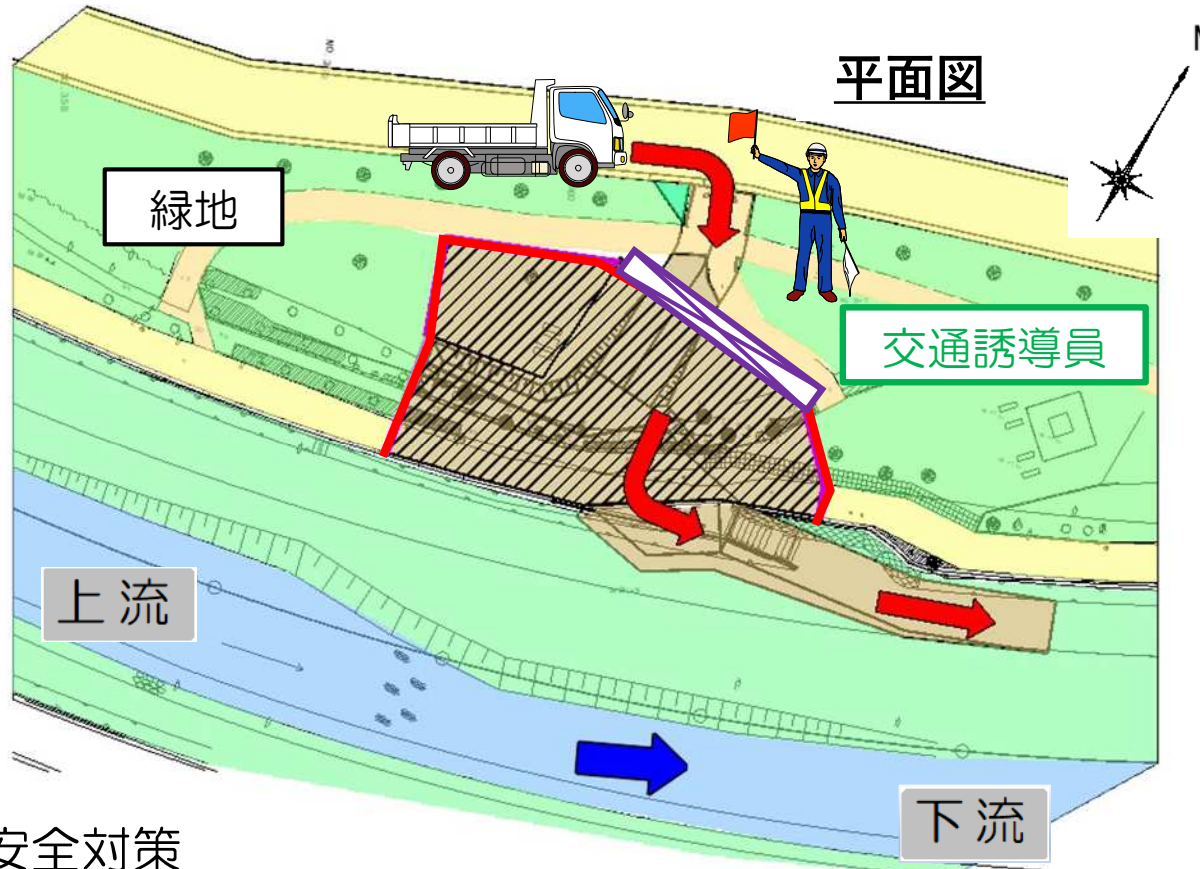
イメージ図（現地写真に追加）



実際の飛び石は自然石を使用 22

3-(2) 安全対策

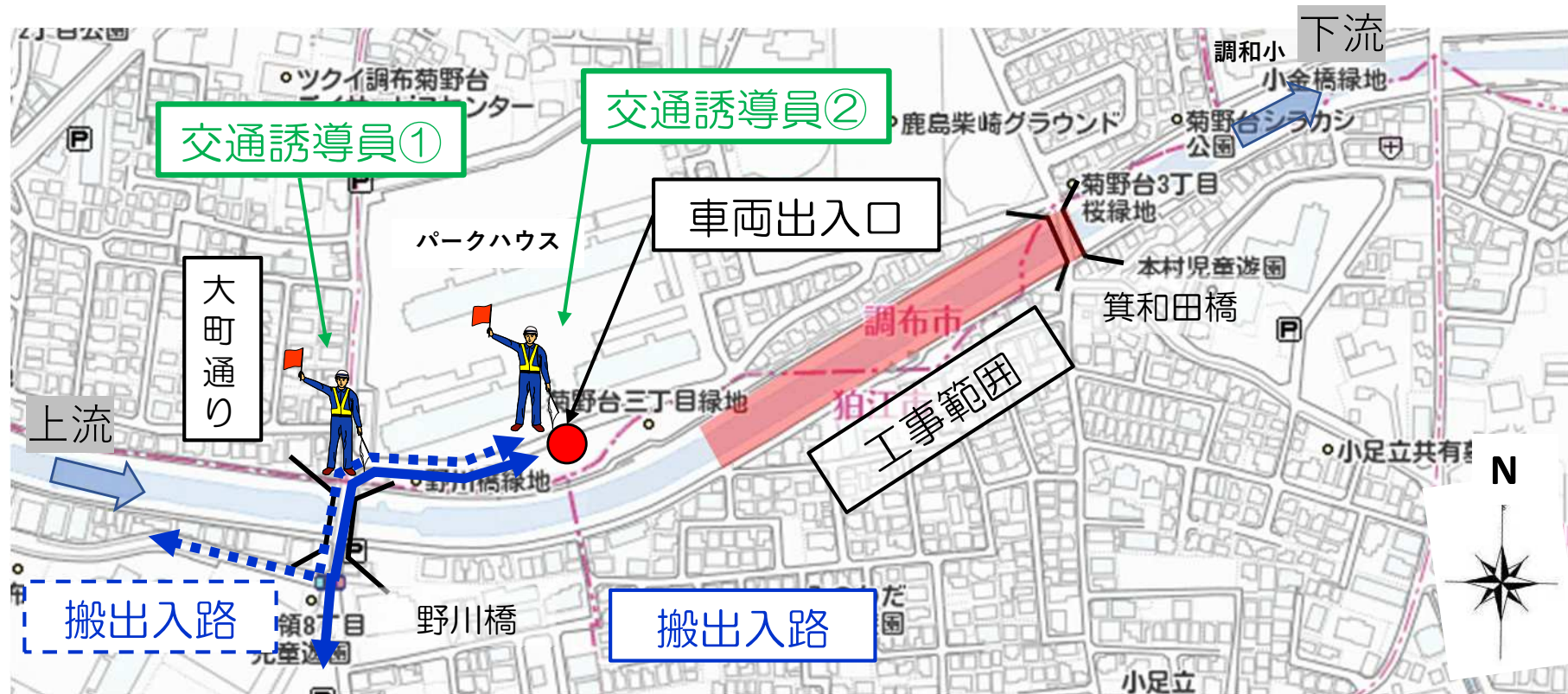
① 工事車両出入口



安全対策

- ① 仮囲い : 管理用通路や緑地の利用者と工事範囲を安全に区分するため設置
- ② ゲート : 工事車両が通行しない土・日・祝日と平日夜間はゲートにて封鎖
- ③ 交通誘導員 : 工事車両出入口部に交通誘導員を配置し一般車両・歩行者を優先
- ④ 工事車両搬入時間の制約 : 通勤・通学時間帯を考慮して8:30以降に入場
(工事車両台数: 河川土工時最大70~80台/日)

② 工事車両搬出入路



工事車両搬出入路

- ・主ルート（実線）：通常の搬出入路
- ・予備ルート（点線）：主ルートが他工事等で通行できない場合の搬出入路

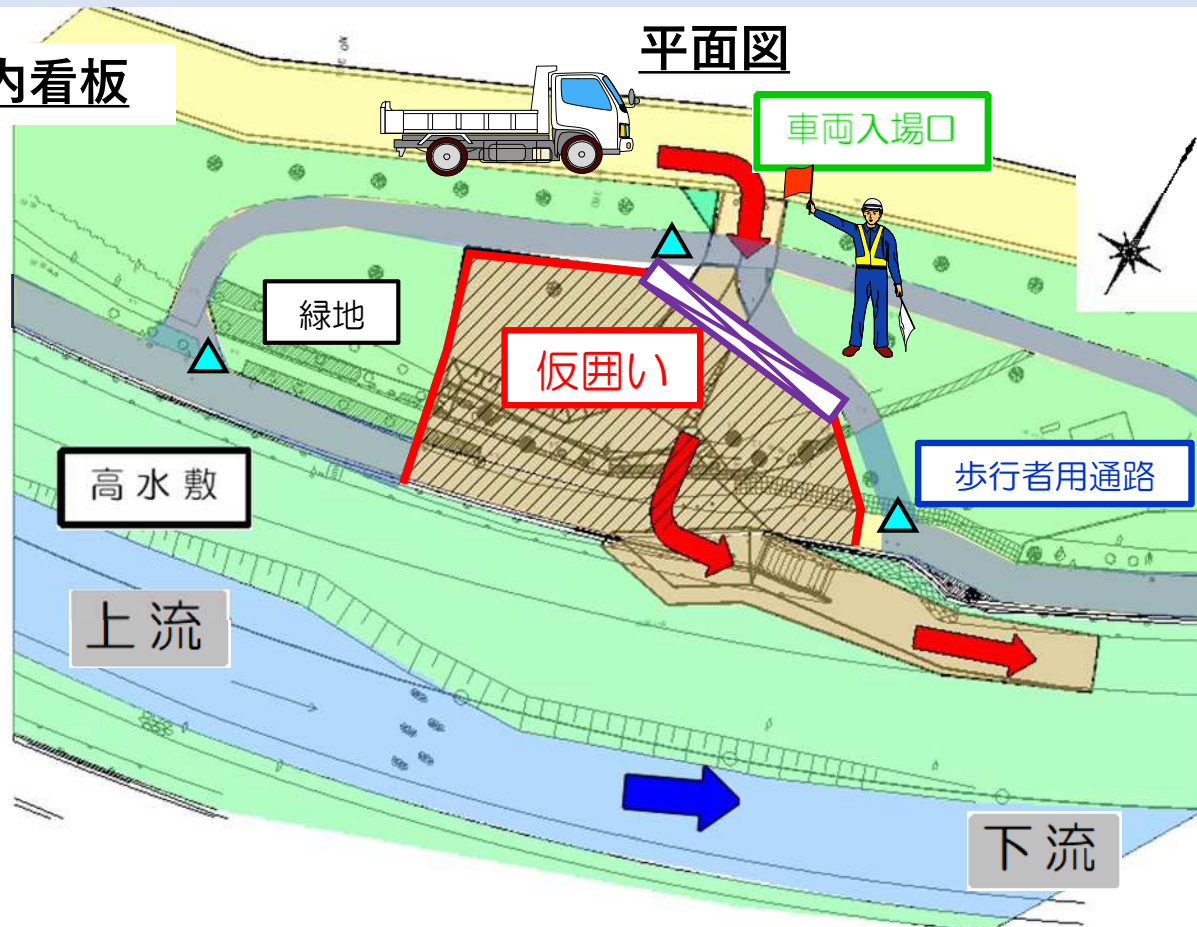
安全対策

- ・交通誘導員①：大型車両の搬出入がある際に、大町通りに交通誘導員を配置し、一般車両・歩行者を優先
- ・交通誘導員②：作業時間中、常時配置

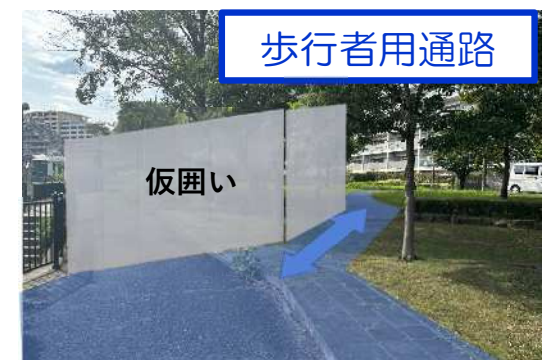
3-(3) 通行止め

①管理用通路のう回

▲案内看板



イメージ写真



- 車両入場口 : 工事車両入場のために整備
- 仮囲い : 管理用通路や緑地利用者と工事範囲を安全に区分するために設置
- 歩行者用通路 : 管理用通路が通行できない区間、緑地内にう回路として整備
- 仮設スロープ : 工事車両が高水敷に降りるために設置

△案内看板



下流

鹿島柴崎グラウンド

箕和田橋

上流

箕和田橋

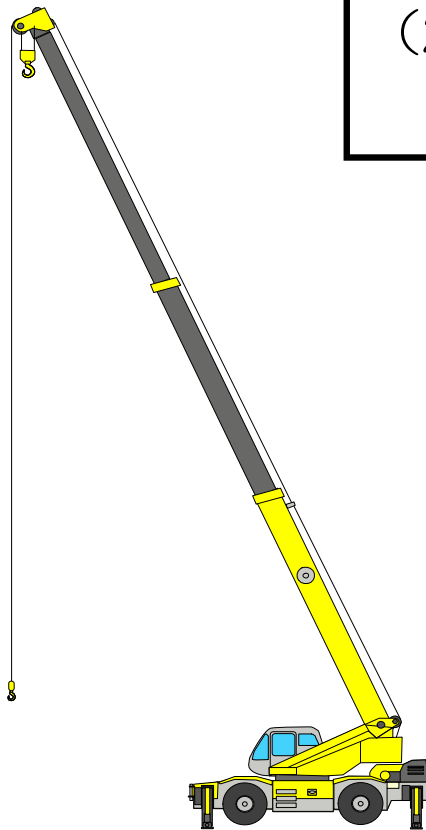
緑地前道路へ

③ 高水敷の通行止め



3-(4) 使用機械

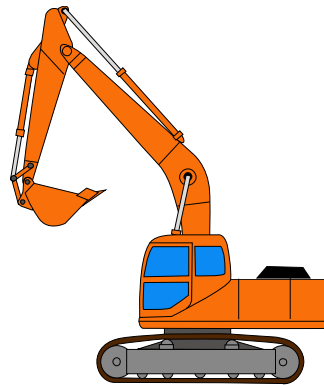
クレーン
(25t吊)



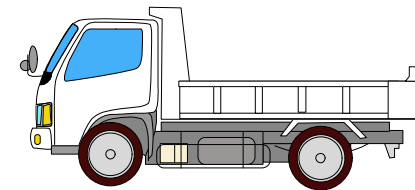
- (1) 重機
 - 低騒音型、低振動型
 - 排出ガス対策型
- (2) 車両
 - ディーゼル規制適合車



バックホウ
(0.1~0.7m³)



ダンプトラック
(4t・10t積)



3－(5) 環境調査

工事中の調査

- 生物捕獲調査 : 野川に生息する魚類・両生類・爬虫類を捕獲・分類作業・放流を行います。
植物は重要種の移植を行います。
- 騒音調査 : 騒音計による測定を行います。
- 振動調査 : 振動計による測定を行います。
- 地下水位調査 : 観測井戸を左右岸に設け測定を行います。

過年度工事実施箇所の様子

小金橋より下流を望む

工事実施前



令和元年6月5日撮影

工事実施後

野川河床整備工事（北その5） R5.9.11~R6.8.2



令和7年5月21日撮影

【お問い合わせ先】

●工事について

受注者：株式会社 野沢実業

現場代理人 佐藤（さとう）：070-4812-8160

監理技術者 赤松（あかまつ）：070-3031-8369

●事業について

発注者：東京都北多摩南部建設事務所

工事第二課：工事総括担当

電話番号：042-330-1859